

令和6年度 第2回 高知支部評議会

# 令和6年度 支部保険者機能強化予算について

令和6年10月17日

# 支部保険者機能強化予算の概要

## ≪予算体系≫

協会の予算（業務経費等の事務費）は、ジェネリック医薬品の軽減額通知や健診費用の補助等の費用に充てる本部で扱う予算のほか、支部で扱う予算がある。この支部で扱う予算については、以下の3つに大別できる。

- ① 審査医師への謝金や支部事務室賃料など、支部の基本的な業務運営に必要な予算（基礎的業務関係予算）
- ② 医療費適正化対策や広報・意見発信など、地域の実情等を踏まえた取組みを推進するために必要な予算（医療費適正化等予算）
- ③ 受診勧奨対策や重症化予防対策など、保健事業における重点的な取組みを推進するために必要な予算（保健事業予算）

このうち、②及び③の予算については、「**支部保険者機能強化予算**」として、協会の将来的な医療費の節減につなげていくことを目的に、医療費適正化や健康づくり等の保険者機能を強化する取組みを実施する場合に予算計上する経費となる。

- ① 事業の性質に応じて、支部の予算申請や本部審査の重点化・簡素化を行い、令和5年度より事務の効率化が図られた。
  - ・多くの支部が既に実施している定型的な業務のほか、行政や医療関係団体と連携した事業であって、かつ継続した事業については、今後も一定の効果が期待できると判断し、「**定型的事業**」として予算審査を簡略化する。
  - ・通常枠予算のうち、支部の課題等に対応した事業であって、定型的事業に該当しない事業を **課題解決型事業** とする。
- ② 保険者機能強化予算の取組に意欲的な支部に対し、通常予算に追加して予算措置を行う「**特別枠**」制度が令和5年度より新たに創設。
  - ・「現状評価・課題・重点施策シート」の作成やこれまでの取組等を通じて洗い出された課題など、エビデンスを踏まえた自支部の課題解決に向けた取組であり、かつ医療費適正化または加入者の健康増進に資する取組を対象とする。

### [審査する際の基準]

- ・効果的な事業に繋げるため、地域別、年代別、薬剤別等に細分化した分析、医療費・健診データ等の分析を通じて、ターゲットの絞り込みや、課題を生じさせている背景（要因）の考察等を十分に行ったうえで効果的な事業となるよう計画を立てているか。また、効果検証の方法について、具体的かつ定量的な計画となっているか。
- ・保健事業については、計画段階から支部保健師と十分な議論を行うなど、保健師が有する専門性を十分に活用した計画となっているか。

# 令和6年度 支部医療費適正化等予算 整理表

分野	区分	定型・課題 の区分	新規・継続 等の区分	取組名	経費	事業内容
医療費適正化 対策経費	企画部門関係	課題解決型	(継続)	若年層のいる家庭に対する医療費適正化啓発	1,100千円	1. 適正受診
		課題解決型	(継続)	見える化ツール発送用封筒の作製	176千円	4. ジェネリック
		課題解決型	(継続)	お薬手帳ファイルの配布	1,617千円	2. お薬手帳・ 多剤
		医療費適正化対策経費 計			2,893千円	
広報・意見発信 経費	紙媒体による広報（納入告知書同封チラシ）				1,761千円	
	その他の広報	課題解決型	(継続)	ジェネリック医薬品の使用促進に向けた広報	2,990千円	3. ジェネリック
		課題解決型	(継続)	上手な医療のかかり方に関する啓発	1,254千円	6. 複合
		定型	(継続)	経済団体の会報誌を利用したインセンティブ制度の普及促進広報	247千円	4. インセンティブ
	小計				4,491千円	
広報・意見発信経費 計				6,252千円		
合計					9,145千円	

# 令和6年度 支部保健事業予算計画 整理表

分野	区分①	区分②	定型・課題 の区分	新規・継続等の区 分	事業内容	取組名	経費
健診経費	事業者健診の結果データの取得	委任状取得費 (健診機関)	—	—	健診機関による事業者健診データ提供に係る新規委任状取得の委託費	—	44千円
		データ作成等経費 (事業主)	—	—	健診機関及び事業主へ事業者健診データの作成に要する費用（システム払いができない分）の支払い	—	77千円
		外部委託分等	課題解決型	継続	外部委託勧奨	事業者健診データ同意書及びデータ取得の外注	6,583,500
		小 計					
	集団健診	—	課題解決型	継続	大型施設等（被扶）	特定健診集団健診の実施（10月～3月開催）	3,226,000
		小 計					
	健診推進経費	生活習慣病予防 健診（A）	—	—	健診機関等の取組を強化するための動機づけとして、健診実施数等の目標を達成した場合に適用	—	2,530,000
		小 計					
	健診受診勧奨等経費	—	定型	継続	パンフレット作成	令和7年度健診年次案内用受診勧奨チラシ作製	1,260,000
		—	課題解決型	継続	被扶養者勧奨	圧着リーフレット等を用いた特定健診の受診勧奨	826,000
		小 計					
	健診経費計						14,547千円

# 令和6年度 支部保健事業予算計画 整理表

分野	区分①	区分②	定型・課題 の区分	新規・継続等の区 分	事業内容	取組名	経費	
保健指導経費	中間評価時の血液検査費	—	—	—	特定保健指導実施機関における特定保健指導で中間評価のために血液検査等を実施	—	1,485千円	
	医師謝金	—	—	—	保健指導についての医師からの医学的な意見・助言に対して支払う報酬	—	26千円	
	保健指導用パンフレット作成等経費	—	—	—	特定保健指導に活用するパンフレットを支部独自に作成、購入等する経費	—	200千円	
	保健指導用事務用品費（測定用機器類等）	—	—	—	保健指導の際に使用する血圧計、体重計等の測定機器の購入及び修理等、感染症対策のための消耗品等を購入する経費	—	50千円	
	保健指導用図書購入費	—	—	—	保健指導等を実施するうえで、必要な医学的な知見を得るための書籍等を購入する経費	—	100千円	
	公民館等における特定保健指導	—	—	—	特定保健指導の面接のために事業所に訪問する際、事業所側で面接場所の確保が困難であること等により、近隣の公民館等の公共施設などを利用する経費	—	60千円	
	保健師募集広告経費（支部）	—	—	—	契約保健師の募集にあたり、地域の広報紙等に保健師募集の求人広告を行う際の経費	—	50千円	
	保健指導推進経費		「前年度実績超過分」を報奨金の対象とする実施機関	—	—	特定保健指導実施機関における特定保健指導実績の向上に向けた取組の動機づけとなるよう、特定保健指導実績に対する報奨金	—	56,430
			「特定保健指導終了件数」を報奨金の対象とする実施機関	—	—		—	218,460
新規契約機関又は前年度実績が60件以下の実施機関のうち、当年度実績が61件以上の実施機関			—	—	—		142,560	
小 計							418千円	
保健指導経費 計							2,389千円	

分野	区分①	区分②	定型・課題 の区分	新規・継続等の区 分	事業内容	取組名	経費	
重症化予防事業経費	未治療者受診勧奨	—	課題解決型	継続	二次勧奨	生活習慣病未治療者に対する受診勧奨業務	3,151,500	
		—	課題解決型	継続	0次勧奨	生活習慣病予防健診結果における高血圧・高血糖者への受診勧奨	2,013,000	
	小 計							5,165千円
	重症化予防対策	糖尿病性腎症	課題解決型	—	—	プログラム	—	1,620,000
		小 計						
重症化予防事業経費 計							6,785千円	

# 令和6年度 支部保健事業予算計画 整理表

分野	区分①	区分②	定型・課題 の区分	新規・継続等の区 分	事業内容	取組名	経費
コラボヘルス事業経費	コラボヘルス事業	—	—	継続	広報物作成（コラボ）	「高知家」健康企業宣言パンフレットの作成	159,500
		—	—	継続	フォローアップ	オンライン健康講座の開催	1,864,500
	小 計						2,024千円
	コラボヘルス事業経費 計						2,024千円
その他の経費	その他の保健事業	—	課題解決型	継続	糖尿病対策	各種メディアを活用した糖尿病発症予防に関する広報の展開	451,000
		—	課題解決型	継続	広報関係	健康づくりに関するメルマガでの情報発信	180,000
	小 計						631千円
	保健事業実施計画アドバイザー経費	—	—	—	保健事業実施計画の策定、評価指標の設定及び実施状況の確認等に際し、有識者の意見及びアドバイスを 得る必要がある場合の経費	—	98千円
その他の経費 計						729千円	
合計						26,474千円	
予算枠（3%効率化後の金額）						26,476千円	

## 具体的な実施計画 ～医療費適正化～

### 課題解決型

事業名	<b>【継続】</b> 若年層のいる家庭に対する医療費適正化啓発  [参考資料2 P17 ①医療資源の適正使用]		予算額	R5年度	1,100 千円
				R6年度	1,100 千円
事業の概要	自治体等と連携して子供を持つ家庭に対し、ジェネリック医薬品や医療費に関する内容を含む総合的なパンフレットを送付する。このことにより、ジェネリック医薬品の啓発や使用促進等を通じて医療費適正化に繋げる。なお、令和5年度も自治体や関係団体と協同で事業を進めている。（令和5年度は高知市と県薬剤師会との連名で実施）	期待・効果	若年層のいる家庭にまずはジェネリック医薬品を認知してもらい、ひいてはその安全性を理解してもらうことで、ジェネリック医薬品使用割合の向上に繋がる等、ヘルスリテラシーを高めることによる医療費の適正化が期待できる。		
実施状況	・高知市との連名により、医療費適正化啓発のリーフレットをR6.7.10に高知市内の各小中学校へ配布済み。（小学生：約14,200名（41校）、中学生：約5,400名（19校）） （令和6年5月のジェネリック使用割合は80.6%となり、目標値である80.0%を超えた）				

## 具体的な実施計画 ～医療費適正化～

### 課題解決型

事業名	<b>【継続】</b> 見える化ツール発送用封筒の作製  [参考資料2 P17 ①医療資源の適正使用]		予算額	R5年度	88 <small>千円</small>
				R6年度	176 <small>千円</small>
事業の概要	医療機関や調剤薬局へ「見える化ツール」を発送する際、目につきやすい専用封筒を使用することにより、重要な書類であると認識してもらうとともに、確実に目を通していただくことで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。	期待・効果	「見える化ツール」は、医薬品実績リストをもとに、その医療機関等で処方されている先発品に対するジェネリック医薬品の流通状況リストを掲載し、より切り替えを促す内容としている。この「見える化ツール」を確実に見ていただくことで、ジェネリック医薬品使用割合の向上に繋がる。		
実施状況	発注、納品済みであり、本部から「見える化ツール用データ」の提供を待って作成・発送予定。				

## 具体的な実施計画 ～医療費適正化～

### 課題解決型

事業名	<b>【継続】</b> お薬手帳ファイルの配付  [参考資料2 P17 ①医療資源の適正使用]		予算額	R5年度	1,617 千円
				R6年度	1,617 千円
事業の概要	「ジェネリックま（高知支部イメージキャラクター）」を用いたお薬手帳ファイルを作成し、調剤薬局を通じて加入者に配付することで、ジェネリック医薬品の啓発や使用促進を図る。なお、ジェネリックまを活用した取り組みを継続することによって、ジェネリック医薬品 = ジェネリックまといったイメージの浸透を目指す。 なお、6年度も関係団体と協同で事業を行う予定である。（令和5年度は県薬剤師会との連名で実施）	期待・効果	ジェネリック医薬品使用割合の向上に繋がるだけでなく、お薬手帳を使用することで、医薬品の相互作用や重複服用等を解消し、医療費の抑制、並びにポリファーマシーの防止が期待できる。		
実施状況	・調達が完了し支部に納品済。今後、高知県内の保険調剤薬局等を経由し加入者へ配布する予定。				

## 具体的な実施計画 ～医療費適正化～

### 課題解決型

事業名	<b>【継続】</b> ジェネリック医薬品の使用促進に向けた広報  [参考資料2 P17 ①医療資源の適正使用]		予算額	R5年度	3,689 千円
				R6年度	2,990 千円
事業の概要	テレビやラジオ、Web系など、あらゆるメディアを活用した広報を行うことにより、幅広い年齢層にジェネリック医薬品の正しい知識の啓発を行い、使用促進を図る。なお、広報事業に関しては一定の継続性が必要であると考えるため、令和5年度の事業内容をベースにして検討・運用を行う予定。	期待・効果	加入者を含む県民にジェネリック医薬品の安全性を理解してもらうことで、ジェネリック医薬品使用割合の向上に繋がる。		
実施状況	・企画競争にて契約した事業者の提案により、TVCMとweb広告・新聞広告・ファミビジョン・ラジオ番組・大型LEDビジョンでの広報と、ジェネリック利用促進カード（まちがいさがし）の制作と実施を予定。 TVCM・ファミビジョンは11月～12月、web広告は11月～1月予定、ラジオ番組は11月～1月に各5分ずつ、全3回実施予定。				

## 具体的な実施計画 ～医療費適正化～

### 課題解決型

事業名	【継続】 上手な医療のかかり方に関する啓発		予算額	R5年度	660 千円
	[参考資料2 P17 ①医療資源の適正使用]			R6年度	1,254 千円
事業の概要	<p>早期受診・早期治療、かかりつけ医の活用など「上手な医療のかかり方」について、マスメディアを使用した周知広報により、県民に対し、知識の啓発をおこなう。</p> <p>【背景】 入院の一人当たり医療費が、全国第5位と全国平均を大きく上回っている。また、要治療者の医療機関受診率も低い。</p>	期待・効果	<p>県民に「上手な医療のかかり方」を理解してもらうことで、医療費の適正化に繋がる。</p>		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報はテレビCM・ポスター制作・新聞広告・大型LEDビジョンでの広報を展開予定。CM動画は9/18収録済、CMコンテ・ポスター・新聞広告等について校了、TVCMは10月～11月を予定。</li> <li>・昨年度に作成した特設サイトをリニューアルし、上手な医療のかかり方コンテンツを追加。ジェネリック広報事業で展開するweb CMから特設サイトに誘導して情報展開する。</li> </ul>				

## 具体的な実施計画 ～保健事業～

### 課題解決型

事業名	【継続】 事業者健診データ提供依頼書及びデータ取得の外注		予算額	R5年度	6,204 千円
	[参考資料2 P12 ②特定健診実施率・事業者健診データ取得率等の向上]			R6年度	6,584 千円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ取得実績のある業者に勧奨を委託し、取得率向上を図る。</li> <li>勧奨対象事業所：520事業所 約15,000人 (R5年度 420事業所 約14,000人)</li> <li>※事業所別の健診対象者を「7人以上」から「5人以上」に拡大する。</li> </ul>	期待・効果	事業者健診データ取得件数（取得率）の向上、ひいてはインセンティブの指標である特定健診等の受診率の向上。		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>提供依頼書取得対象 208事業所、健診データ取得対象 328事業所を委託した。</li> <li>R6年9月末現在、提供依頼書 43件、健診データ 63件を取得済み。</li> </ul>				

## 具体的な実施計画 ～保健事業～

### 課題解決型

事業名	【継続】 特定健診集団健診の実施（10月～3月開催）  [参考資料2 P12 ②特定健診実施率・事業者健診データ取得率等の向上]	予算額	R5年度	3,580 千円
			R6年度	3,226 千円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度後半（10月）から年度末にかけて、高知県内各地で未受診者を対象とした特定健診とがん検診の同時実施を開催し、特定健診の受診率向上を図る。</li> <li>・特定健診と各種がん検診を同時に実施できる健診実施機関に委託する。</li> <li>・健診内容を充実させ、受診者に魅力を感じてもらうことで受診率向上を図る。</li> <li>・高知市中心部では、集客が見込めるショッピングモール等において、それ以外の地区では地域の保健福祉センターを活用するなど、地域住民が受診しやすい環境で実施予定。</li> </ul>	期待・効果	がん検診との同時実施による健診の利便性及び年末・年度末最後の未受診者対策により、特定健診の受診率が向上。	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診とがん検診の同時実施により受診者増を図る。</li> <li>・令和6年10月イオンモール（4日程）実施 申込者463名</li> <li>・令和6年12～令和7年3月には、高知市総合あんしんセンター、セリーズ、幡多地区等（12会場18日程）実施予定</li> </ul> <p>※年度途中の追加予算（各評議員には事前に実施計画を案内）にて、<u>オプション健診（骨粗しょう症検診）の実施を検討していたが、健診機関側の体制が整わず今年度の実施は見送りとなった。</u> 令和7年度実施に向けて改めて調整を行う。</p>			

## 具体的な実施計画 ～保健事業～

### 課題解決型

事業名	<b>【継続】</b> 圧着リーフレット等を用いた健診の受診勧奨  [参考資料2 P12 ②特定健診実施率・事業者健診データ取得率等の向上]		R5年度	1,452 <small>千円</small>
			R6年度	826 <small>千円</small>
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圧着リーフレットによる特定健診の受診勧奨を行い、受診率向上を図る。</li> <li>・未受診者への受診勧奨を圧着ハガキで行い、特定健診、がん検診の受診率向上を図る。</li> <li>・リーフレットの内容は、健診実施予定日の記載や無料健診機関の案内等をメインとする予定。</li> <li>・委託業者には、対象者データを提供の上、圧着ハガキの作成、発送先の住所、氏名の記載および発送までを委託する。（年度内2回の発送を予定）</li> </ul>	期待・効果	特定健診およびがん検診の受診率の向上。	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月に受診率の低い市町村を中心に市町村集団健診（がん検診同時実施）の再勧奨DM約1,000件を実施（室戸市、中土佐町、土佐清水市、越知町、日高村、芸西村、田野町在住の対象者）。効果検証し、R7年度は全市町村に拡大を予定。</li> <li>・このため、圧着リーフレットによる勧奨は1月に1回実施の予定に変更。10月に委託業者調達予定。</li> </ul>			

## 具体的な実施計画 ～保健事業～

### 課題解決型

事業名	【継続】 糖尿病性腎症患者の重症化予防対策  [参考資料2 P15 ④重症化予防対策の推進]	予算額	R5年度	50 千円
			R6年度	1,620 千円
事業の概要	高知県の「糖尿病性腎症透析予防強化プログラム」を実施する。 高知県が選定したモデル医療機関で対象者を抽出、同意を得られた対象者の診療及び生活指導に必要な情報を保険者に提供、その情報を委託機関に連携し、6か月間の生活指導を実施する。 プログラム期間中は、必要に応じて医療機関と情報共有しながら必要な生活指導を実施、プログラム終了後に医療機関で検査、生活指導評価を実施する。  指導対象：10人	期待・効果	生活習慣病の重症化を防ぎ、医療費の適正化に繋がる。	
実施状況	・11月下旬の契約に向け外部委託の調達中。			

## 具体的な実施計画 ～保健事業～

### 課題解決型

事業名	<p><b>【継続】</b> 生活習慣病予防健診結果における高血圧・高血糖者への受診勧奨</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">[参考資料2 P15 ④重症化予防対策の推進]</p>	予算額	R5年度	1,815 <small>千円</small>
			R6年度	2,013 <small>千円</small>
事業の概要	<p>健診当日、生活習慣病予防健診実施機関で、血圧・血糖の一次勧奨値以上に該当する方に対し、医療機関受診を勧める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託機関：生活習慣病予防健診実施機関のうち受託を希望する機関</li> <li>・勧奨実施者：医師、看護師、保健師</li> <li>・勧奨方法：対面にて、勧奨資材を用いて5分以上の受診勧奨をする</li> <li>・効果判定：勧奨後の受診状況をレセプトで確認する</li> <li>・対象者：1,200人</li> <li>・費用：1件当たり1,500円（税抜）</li> </ul>	期待・効果	生活習慣病の重症化を防ぎ、医療費の適正化に繋がる。	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度は高血圧・高血糖の未治療者を受診勧奨対象とし、11機関と契約。</li> <li>・8月末現在、862人に対し受診勧奨を実施（上限1,200人）。</li> </ul>			

## 具体的な実施計画 ～保健事業～

### 課題解決型

事業名	<b>【継続】</b> 「高知家」健康企業宣言パンフレットの作成  [参考資料2 P16 ⑤コラボヘルスの推進]		予算額	R5年度	289 <small>千円</small>
				R6年度	160 <small>千円</small>
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康企業宣言を行っていない事業所カルテを作成できる事業所に対し、パンフレット等を活用して健康宣言事業への参加を促す。</li> <li>・連携協定を締結している関係団体にパンフレットを提供することにより、健康宣言事業の周知広報及び宣言事業所の拡大を図る。</li> <li>・さらに基本モデルに沿った宣言に切替していない事業所が全体の約6割を占めていることから、基本モデルへの切替勧奨も併せて行う。</li> </ul>	期待・効果	事業所カルテ送付時に健康宣言事業の周知広報を行うほか、関係団体を通じて、より多くの加入事業所へ健康宣言事業を周知することにより、宣言事業所数の拡大に繋がる。		
実施状況	2023スコアリングレポートのデータが本部から届き次第、作成を予定している。 今年度は未宣言事業所へ対象事業所数を軸に抽出のうえ勧奨予定。				

## 具体的な実施計画 ～保健事業～

### 課題解決型

事業名	【継続】 オンライン講座の開催  [参考資料2 P16 ⑤コラボヘルスの推進]	予算額	R5年度	2,676 千円
			R6年度	1,865 千円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康宣言事業所を対象に食事や運動、喫煙、飲酒など講座を提供し、事業所が自らの課題に適した講座を選定して、Web会議アプリ「Zoom」を使用したオンライン講座を実施する。</li> </ul> <p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高知支部は代謝リスク保有率が全国平均を大きく上回っている（スコアリングレポート2022の代謝リスク保有率：男性27.9%（全国47位）、女性13.6%（全国41位））</li> <li>飲酒習慣要改善者の割合も高い（男性45位、女性47位）</li> <li>入院の一人当たり医療費も全国平均よりも高いなどの健康課題が多い。</li> </ul>	期待・効果	事業所が自らの健康課題に合わせた講座を実施することで、より具体的な取り組みを実施することができ、健康経営の質の向上および加入者の健康意識向上に繋がる。	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体学習1回目R6.9.24実施済(申込数：25事業所)。</li> <li>R6.8.19個別学習勸奨を771事業所へ発送済み（R6.9.18時点で申込数8件/定数26事業所）。</li> <li>10月開催の全体学習2回目のチラシ発送済み。（全体学習は4回開催する予定）</li> </ul>			

## 具体的な実施計画 ～保健事業～

### 課題解決型

事業名	<b>【継続】</b> 各種メディアを活用した糖尿病発症予防に関する広報の展開  [参考資料2 P16 ⑤コラボヘルスの推進]		予算額	R5年度	3,718 千円
				R6年度	451 千円
事業の概要	令和5年度事業として作成した糖尿病発症予防に関する特設サイトを継続運用し、記事を拡充するとともに、事業所への周知や各種メディアから誘導して糖尿病発症予防に向けた啓発を行う。 周知内容としては、主に20～30歳代から体重増加を予防するための生活習慣を身につける広報を展開する。	期待・効果	20歳から体重が10kg以上増加した場合に、そうでない人に比べて、2.2倍糖尿病を発症しているなどの研究報告を前提とした広報を展開し、加入者に体重増加の予防について意識づけすることで、代謝リスクの軽減などを期待できる。		
実施状況	委託事業者にて昨年度に作成した特設サイトを継続運用しており、チラシやメルマガ等で周知を図っている。 また、特設サイトのコンテンツ更新を予定しており、より興味を持って閲覧していただくよう準備を進めている状況。				

## 具体的な実施計画 ～保健事業～

### 課題解決型

事業名	<p><b>【継続】</b> 健康づくりに関するメルマガでの情報発信</p> <p style="text-align: center;">[参考資料2 P20 ③インセンティブ制度の実施及び検証]</p>	予算額	R5年度	180 <small>千円</small>
			R6年度	180 <small>千円</small>
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加入者に、疾病予防や健康増進に対する意識を高めてもらおう。</li> </ul> <p><b>【背景】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知支部は入院の一人当たり医療費が全国第5位、代謝のリスク保有率が全国第1位となっている等、健康課題が多い。</li> <li>・医師の専門的見地に基づき、医療・健康に関するコラムを執筆してもらい、メルマガを通して加入者へ情報を提供する。</li> </ul>	期待・効果	加入者の疾病予防や健康増進に対する意識向上に繋がる。	
実施状況	<p>上半期にて、これまで医療系コラムを担当いただいていた医師の執筆が連載100回を機にいったん終了となった。下半期の調達に関し上級睡眠健康指導士の方にメールマガジンの原稿執筆と、11/12（火）と11/15（金）の年金機構との合同研修会講師について依頼済。</p> <p>研修会の講演内容とメルマガのコラムを連動させることで、メルマガ登録者数の増加が期待できる。</p>			